



第4章 第3次計画の基本的な考え方

1 計画の基本方針

心身ともに健康で、生涯を通じて健やかな生活を送ることは、すべての市民の願いです。住み慣れた地域で、心身ともに健康で暮らせる期間である健康寿命を延伸していくことは重要であり、そのために望ましい生活習慣を身につけ、「自分の健康は自分で守る」という考えのもと、生涯を通じて健康づくりに取り組むことが重要です。

本計画では、第七次筑紫野市総合計画の政策である『支え合い、暮らしに寄り添う福祉のまちづくり』を目指して、『みんなでつくる 健やかなまち ちくしの』を基本目標として掲げるとともに、あらゆる視点から市民の「こころとからだの健康」を推進していくために、これまでの「健康増進計画」と「食育推進計画」に、「自殺対策計画」を新たに加え、5つの対策を柱として様々な取組を推進することとします。

【基本目標】

みんなでつくる 健やかなまち ちくしの

【成果指標】

成果指標	現状値	目標値	成果指標の元となる資料
健康だと思える市民の割合の増加（%）	79.9	83.0	ちくしのまちづくりアンケート
平均自立期間（要介護2以上）の延伸（年）	男性 81.1 女性 85.5	延伸	国保データベースシステム

【計画の方針】

筑紫野市健康増進計画

子どもから高齢者まで、健康づくりへの意識を高め、生涯にわたる一人ひとりの健康づくりを推進します。また、人と人とのつながりを大切にした健やかなまちづくりを市民、地域、行政が一体となり、協働の精神で取組を展開していきます。

筑紫野市食育推進計画

子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた間断ない食育を推進し、健全な食生活を実践していきます。また、食料の生産から消費に至るまでの「食」に関する理解を深め、自ら食育の推進のための活動を実践できる人を増やします。

筑紫野市自殺対策計画

子どもから高齢者まで、命の大切さについて深く理解し、誰もが生き生きと生活することができる筑紫野市を目指します。また、誰一人取り残すことがないように、相談・支援体制の整備や周知・啓発、居場所づくりといった取組を推進していきます。



2 ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの推進

(1) 子どもの健康づくり

将来への希望に満ちた子どもたちの健康を守ることは、筑紫野市が明るい未来を作り上げていく上で大変重要です。幼少期より正しい生活習慣や健康に関する正しい知識を身に付けることによって、将来的に「自分の健康は自分で守る」という意識を持って自立して生活することができるように、様々な取組を推進します。

また、子どもの健康を守るができるように、健診結果の把握や統計情報の整理など、客観的かつ経年的に現状及び課題の把握に努めます。

(2) 高齢者の健康づくり

本市においても高齢化は進行しており、平成12年では13.7%であった高齢化率は、令和2年においては25.9%となっており20年間で約12%増加しています。

高齢期においても住み慣れた地域で生き生きと生活していくためには、運動機能や認知機能を可能な限り維持すること、自身の健康状態を把握すること、地域活動等の社会参加が活発な社会環境が必要です。

高齢者の健康づくりについては、75歳以上の後期高齢者を対象に、ハイリスクアプローチ（個別支援）やポピュレーションアプローチ（通いの場への積極的関与）を併せた「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」を進め、健康寿命の延伸と介護予防の充実に努めます。

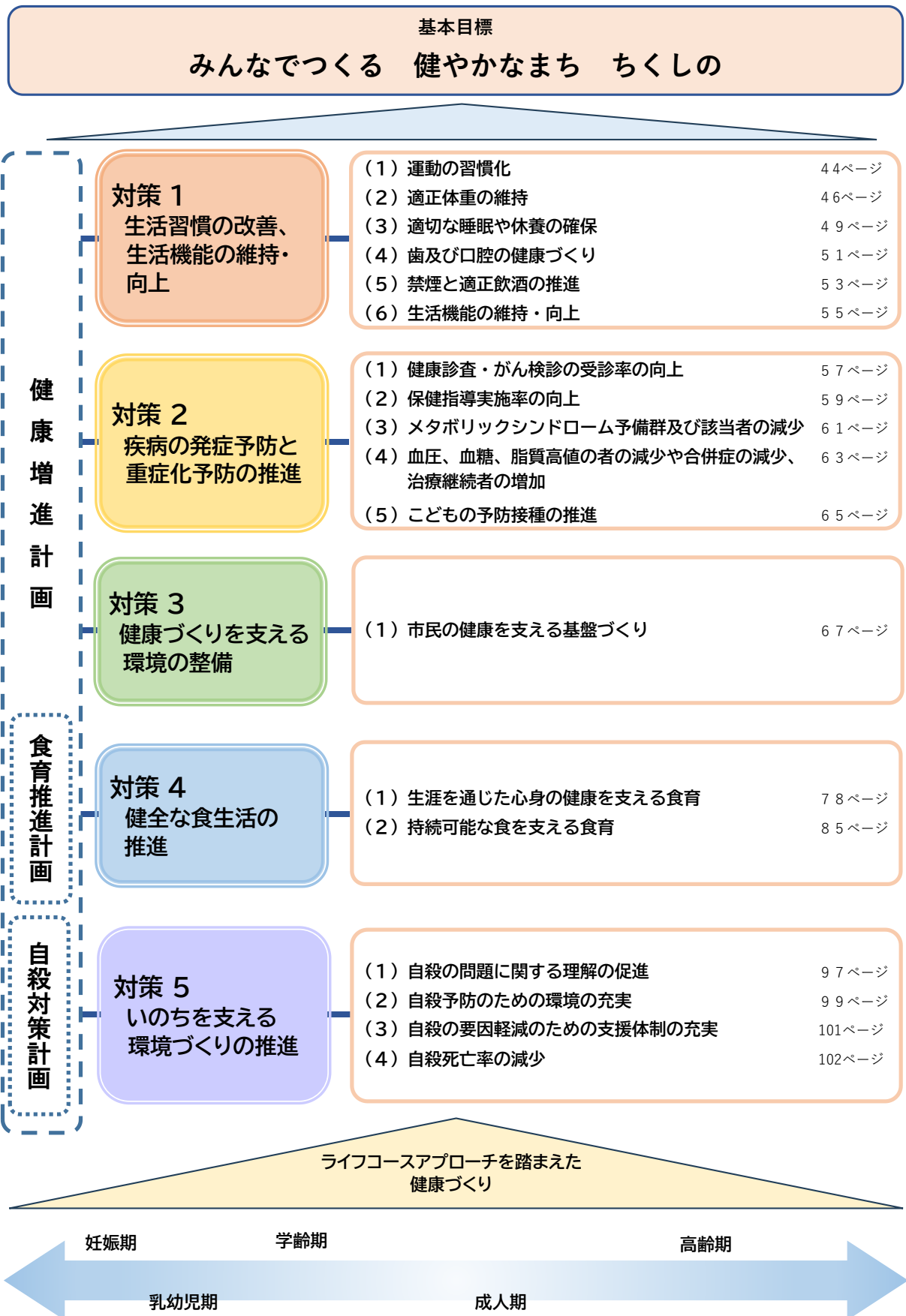
(3) 女性の健康づくり

女性が生涯を通じて健康で明るく、充実した生活を送るために、妊娠や出産といった女性特有の健康課題に向けた取組を推進することは重要な要素の一つです。

女性は子どもを産み育てるだけでなく、社会や家庭、地域において様々な役割を担っています。女性の生涯を通じた心身の健康を包括的に支援することができるように、様々な取組を推進していきます。



3 計画の体系





4 各対策の目指す姿

本計画の対策については、以下の“目指す姿”を理想として、その実現のために様々な取組を推進します。

対策1 生活習慣の改善、生活機能の維持・向上

- ・栄養、運動、睡眠及び休養、口腔ケア、喫煙や飲酒に関する適切な習慣が身についており、からだところの健康が保たれ、いきいきと自分らしい社会生活を営むことができています。

対策2 疾病の発症予防と重症化予防の推進

- ・定期的に健診を受け、必要時、保健指導や医療機関の受診をするなど自分の健康管理を適切に行い、健康状態を良好に保つ人が増加しています。
- ・感染症のまん延を予防することができています。

対策3 健康づくりを支える環境の整備

- ・社会活動を行う人が多く、地域での健康づくりに関する活動に参加する人が増えています。
- ・健康づくりを推進する人材や組織が増え、地域全体が健康になっています。

対策4 健全な食生活の推進

- ・食生活への関心が高まり、規則正しい、栄養のバランスのとれた食生活を実践している人が増加しています。

対策5 いのちを支える環境づくりの推進

- ・誰もがいのちの大切さを理解しており、他者への思いやりを持って生活しています。
- ・悩んでいる人や困難に見舞われている人に気づき、助けになる仕組みづくりや地域づくりができています。



5 各対策の評価指標

評価指標		現状値	目標値 (R15)	出典元	
最重要目標	健康だと思える市民の割合の増加 (%)	79.9 (R5)	83.0	ちくしのまちづくり アンケート	
	平均自立期間（要介護2 以上）の延伸（年）	男性	81.1 (R4)	延伸	国保データベース システム
		女性	85.5 (R4)		
対策1 生活習慣の 改善、生活 機能の維 持・向上	日常生活における歩数の増加（歩）	6,781 (R4)	7,100	ふくおか健康ポイント アプリ登録データ	
	運動習慣者の増加（週2回以上運動をする市民 の割合）（%）	40.8 (R5)	45.8	ちくしのまちづくり アンケート	
	運動やスポーツを習慣的 に行っていないこどもの 減少（%）	小学生女子	15.1 (R4)	減少	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査の結果
		小学生男子	7.1 (R4)		
		中学生女子	17.2 (R4)		
		中学生男子	6.8 (R4)		
	適正体重を維持している市民の割合の増加（%）	59.6 (R4)	66.0	筑紫野市健康診査結果 後期高齢者健診結果	
	児童・生徒における肥満傾向児の減少（%）	9.4 (R4)	減少	福岡県児童生徒体力・ 運動能力調査	
	若年女性のやせの減少（BMI18.5未満の20歳～ 30歳代女性の割合）（%）	15.0 (R4)	減少	妊娠届出書	
	BMI20以下の高齢者（65歳以上）の割合の減少 （%）	21.1 (R4)	20.0	筑紫野市健康診査結果 筑紫野市後期高齢者健 診結果	
	睡眠で休養が取れている市民の割合の増加（%）	78.3 (R5)	85.0	ちくしのまちづくり アンケート	
	6～7時までに起床する3歳児の割合の増加 （%）	20.6 (R4)	27.0	乳幼児健康診査問診票	
	20～21時までに就寝する3歳児の割合の増加 （%）	12.9 (R4)	17.0	乳幼児健康診査問診票	
	歯周病を有する者の減少（%）	63.9 (R4)	40.0	成人歯科検診結果	
	よく噛んで食べることができる者の増加（%）	75.3 (R4)	80.0	基本健診・一般健診・ 特定健診問診票	
	定期的に歯科検診を受けている市民の割合の増 加（%）	54.4 (R5)	95.0	ちくしのまちづくり アンケート	
むし歯のない3歳児の割合の増加（%）	85.1 (R4)	95.0	乳幼児健康診査		
喫煙している市民の割 合の減少（%）	20歳以上の者の喫 煙率	12.0 (R5)	10	ちくしのまちづくり アンケート	
	妊婦の喫煙率	1.5 (R4)	0	母子手帳交付時の 妊娠届出データ	



評価指標		現状値	目標値 (R15)	出典元	
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の減少 (%)	男性	10.9 (R5)	10.0	ちくしのまちづくりアンケート	
	女性	9.7 (R5)	6.4		
	骨粗しょう症検診受診率の向上 (%)		15	業務取得	
ロコモティブシンドロームの減少 (%)		15.6 (R4)	減少	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
対策2 疾病の発症予防と重症化予防の推進	年に1回健康診査を受けている市民の割合の増加 (%)		72.2 (R5)	73.0	ちくしのまちづくりアンケート
	特定健康診査の受診率 (%) の向上		35.6 (R4)	60.0	法定報告
	がん検診を受けている市民の割合の増加 (%)	肺がん	17.4 (R5)	60.0	ちくしのまちづくりアンケート
		胃がん	30.7 (R5)	60.0	
		大腸がん	28.5 (R5)	60.0	
		子宮頸がん	20.9 (R5)	60.0	
		乳がん	23.3 (R5)	60.0	
	特定保健指導実施率の増加 (%)		52.2 (R4)	60.0	法定報告
	メタボリックシンドローム予備群及び該当者の減少 (%)		32.3 (R4)	18.5	法定報告
	高血圧の改善 (mmHg)		129.3 (R4)	124.3	筑紫野市健康診査結果 筑紫野市後期高齢者健康診査結果
	脂質 (LDL コレステロール) 高値の者の減少 (%)		12.8 (R4)	9.6	法定報告
	糖尿病の合併症 (糖尿病腎症) の減少 (人)		14 (R4)	減少	
	糖尿病治療継続者の増加 (%)		64.1 (R4)	75.0	
血糖コントロール不良者の減少 (%)		1.4 (R4)	1.0		
糖尿病有病者数の増加の抑制 (人)		635 (R4)	592		
麻しん風しん混合予防接種(第1期・第2期)の接種率の維持または増加 (%)		96.9 (R4)	95.0 以上		



第4章 第3次計画の基本的な考え方

評価指標		現状値	目標値 (R15)	出典元	
対策3 健康づくりを支える環境の整備	健康づくりサポーターが関わる事業の延参加者数の増加(人)	食生活改善推進員	227 (R4)	1,000	筑紫野市健康づくりサポーター実績
		健康づくり運動サポーター	8,900 (R4)	10,680	筑紫野市健康づくりサポーター実績
	社会活動を行っている者の割合の増加(%)	就労・就学を含む社会活動を行っている者	61.2 (R5)	64.3	ちくしのまちづくりアンケート
		就労・就学を含む社会活動を行っている65歳以上の者の割合	67.7 (R5)	74.5	ちくしのまちづくりアンケート
対策4 健全な食生活の推進	朝食を欠食する割合の減少(%)	子ども(小学6年生)	2.2 (R4)	0	全国体力・運動能力、運動習慣等調査
		若い世代(20~30代)	26.9 (R4)	15以下	筑紫野市健康診査問診票
	バランスの良い食事を摂っている市民の割合の維持または増加(%)	全体	50.3 (R5)	50以上	ちくしのまちづくりアンケート
		若い世代(20~30代)	33.6 (R5)	40以上	
	適正体重を維持している市民の割合の増加(%)【再掲】		59.6 (R4)	66.0	筑紫野市健康診査結果後期高齢者健診結果
	児童生徒における肥満傾向児の減少(%)【再掲】		9.4 (R4)	減少	福岡県児童生徒体力・運動能力調査
	若年女性のやせの減少(BMI18.5未満の20~30歳代女性の割合)(%)【再掲】		15.0 (R4)	減少	妊娠届出書
	BMI 20以下の高齢者(65歳以上)の割合の減少(%)【再掲】		21.1 (R4)	20	筑紫野市健康診査結果後期高齢者健診結果
	学校給食における地場産物を使用する食材数の割合の維持または向上(%)		1.3 (R5)	維持 向上	学校給食における県産農林水産物利用状況調査
	学校給食における国産食材を使用する食材数の割合の維持または向上(%)		77 (R5)	維持 向上	学校給食における県産農林水産物利用状況調査
	災害に備えて飲料水や食料品を準備している市民の割合の増加(%)	保存飲料水	48.7 (R5)	増加	ちくしのまちづくりアンケート
		保存食料品	36.9 (R5)	増加	



評価指標		現状値	目標値 (R15)	出典元
対策5 いのちを支える環境づくりの推進	福岡いのちの電話等の相談窓口を知っている人の割合の増加 (%)	76.4 (R5)	100	ちくしのまちづくりアンケート
	ゲートキーパーを知っている人の割合の増加 (%)	4.4 (R5)	10.0	ちくしのまちづくりアンケート
	広報やホームページでの啓発 (回)	年1回 (R4)	年1回	業務取得
	ゲートキーパー研修の参加者数の増加 (人)	136 (R5)	100	業務取得
	市主催子育てサロンの開催場所数の増加	7 (R5)	10	業務取得
	地域包括支援センターの相談件数の増加 (件)	13,111 (R4)	増加	業務取得
	筑紫野市健康づくり推進協議会開催数 (関係団体)	年2回 (R4)	年2回	業務取得
	健康ちくしの21推進委員会開催数 (庁内)	年2回 (R4)	年2回	業務取得
	筑紫野市自殺対策推進会議開催数 (庁内)	年1回 (R4)	年1回	業務取得
	産婦のEPDS (実施率) の向上 (%)	99.0 (R4)	100	業務取得
	児童・生徒のSOSの出し方に関する教育の実施率の維持 (%)	100 (R4)	100	業務取得
	高齢者の虐待対応の実施率の維持 (%)	100 (R4)	100	業務取得
	自殺死亡率の減少 (人口10万対)	15.1 (R4)	9.6	地域における自殺の基礎資料